

2026年2月27日

各位

会社名 株式会社ホットリンク  
代表者名 代表取締役 檜野安弘  
(コード番号: 3680 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 CFO 福島淳二  
(TEL. 03-6261-6930)

## ステーブルコインを活用したDeFi運用の運用枠拡大のお知らせ

ホットリンクグループのNonagon Capital、DeFi運用規模を10億円へ拡大  
安定運用の実績をもとに戦略的運用へシフト

株式会社ホットリンク（以下、当社）は、2026年2月27日開催の取締役会において、当社グループで暗号資産・ブロックチェーン関連スタートアップへの投資を行うベンチャーファンド、合同会社Nonagon Capital（以下、Nonagon Capital）が、DeFi（分散型金融）領域における運用枠を最大10億円へ拡大することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

Nonagon Capitalは、ブロックチェーン分野に特化した投資・事業運営の知見を活かし、米ドルに連動するステーブルコイン「USDe」を発行するプロトコル「Ethena」を活用したDeFi運用を行っております。これまでの安定的な運用実績を踏まえ、当社から新たに4億円を追加し、DeFi運用枠を最大10億円へ拡大いたします。

なお、本件は運用枠の拡大を決議したものであり、実際の投資実行については、為替環境、暗号資産市場の動向、各DeFiプロトコルのリスク評価および運用先の選定状況等を総合的に勘案し、段階的に実行予定です。市場環境やリスク状況等によっては、投資額の全部または一部を実行しない可能性があります。

### 1. 増額の背景

米国では暗号資産やステーブルコインに関する規制整備が進むとともに、既存金融機関による事業参入や金融商品のトークン化が本格的に拡大しています。ステーブルコインを活用した決済・運用スキームや、DeFiを活用した利回り商品が実装段階に入り、機関投資家の関与も広がっています。

こうした動きを背景に、上場企業が内部統制のもとで活用可能なDeFiプロダクトの選択肢が拡大し、市場は実証段階から普及段階へと移行しつつあります。Nonagon Capitalはこの構造的な市場変化を成長機会と捉え、運用実績を評価した結果、運用規模の拡大を決定いたしました。既存の運用額と合わせ、最大10億円規模の投資枠を確保いたします。

### 2. 年利4%の運用実績について

Nonagon Capitalは2025年10月から、流動性が高く価格変動の少ないステーブルコインを原資とするDeFi運用を行ってまいりました。運用開始以降、利回りは年利4%水準で安定的に推移しています。本運用はNonagon Capitalのデジタルアセット・トレジャリー（DAT）戦略における収益源として、着実に機能しております。本運用は、内部統制ルールに基づくリスク管理体制のもとで行っています。安全性重視の運用方針を維持しつつ、運用規模を拡大することで収益基盤を強固にし、事業全体の黒字化を目指します。

### 3. 増額分の用途について

今回の増額は、当社からの追加資金拠出となります。増額分は、米国の規制に準拠して発行されている、世界で2番目の流通量を誇るステーブルコイン「USDC」に加え、合理的な収益性が見込まれる信頼性の高いステーブルコインを使ったDeFi運用等へ振り分ける計画です。

DeFi運用の手法には、ステーキング、レンディング、流動性提供など様々なものがあります。これらの中から、リスクを相対的に抑えた手法を採用し、企業が利用可能なDeFiプロダクトを主軸にポートフォリオを組み、戦略的運用フェーズへ移行します。

今回の増額でDeFi運用を多角化することにより、リスクヘッジと利回りの向上を通じた収益改善を目指します。本運用により得られた知見は、Nonagon Capitalの投資事業・コミュニティ事業・バリデーター事業などの既存事業やクライアント企業へ展開し、暗号資産・ブロックチェーン技術の普及に貢献してまいります。

### 4. 業績への影響

本件はDeFi運用枠の拡大に関する決議であり、投資実行は市場環境等を踏まえ段階的に行う予定です。運用収益は今後発生する見込みですが、現時点においては当期の連結業績予想に織り込んでおらず、その影響は軽微と見込んでおります。今後、業績予想の修正が必要となる場合には、速やかに開示いたします。

### 5. リスクに関する留意事項

DeFi運用には、スマートコントラクトの不具合や外部攻撃、ステーブルコインの価格乖離、流動性不足、規制の変化、市場状況の変化など、様々なリスクが伴います。これらのリスクを十分に把握した上で、当社は流動性が高く比較的価値変動が小さい傾向にあるステーブルコインを預け入れることで暗号資産特有のボラティリティリスクを回避し、既存金融および暗号資産業界で活動経験が豊富なメンバーが運営を担う体制を敷いております。さらに、資産管理においてはマルチシグウォレットを利用し、一定人数の承認がなければ資金移動ができない仕組みを構築するとともに、内部統制ルールを整備し、それに厳格に従った運用方針を採用しております。これにより、外部環境に依存しない安定的な資産管理とリスク低減を図ってまいります。

### 6. 将来見通しに関する注意事項

本開示に記載の利回りや収益見通しは、現時点における前提に基づいたものであり、実績は市場環境やプロジェクトの状況によって変動する可能性があります。重要な事象が発生した場合には、速やかに開示を行います。